

深海魚が来て食ふだらう

.....  
私は今度は他の鞭を

こつそり揚げて泣いてゐる

## 何が残る？

空気を嗅ぎ廻る偽瞞ホトの行跡には時ならぬ嵐が荒び

古色蒼然たる瓶の腐敗した水は毒氣ある息を吐き

神が自らの湖に浮ぶ舟で夢を紛失するとき

享樂と糧の爲の亂騒の戦慄の青白さ

そこ愛想よき善さもは刻々の區別けいべつに戸惑ひ

軸廻の足の偉大なる使分けに驚愕し

身許不明の渾沌を自矢の酒を酌む

純粹なる情熱への代償は

も早悪辣なる痛罵である

昨日の智は今日その無一文に哀哭す

チエツ絢爛たる財布の中の淺間しき殘滓よ

汝は古新聞紙を購ふの價値もない

だが待てよ武器のない争闘はまだあるだらう